

第3号議案

平成30年度長崎市一般会計補正予算(第8号)

目次	ページ
《8款 土木費 2項 道路橋りょう費》	
3目 道路橋りょう新設改良費	
〔歳出及び繰越明許費の補正〕	
【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金) 1 ~ 3
【補助】景観まちづくり刷新事業費 4 ~ 6
〔繰越明許費の補正〕	
【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金) 7 ~ 12
【単独】道路新設改良事業費	
《8款 土木費 3項 河川海岸費》	
2目 河川改良費	
〔歳出及び繰越明許費の補正〕	
【単独】自然災害防止事業費 13 ~ 15
3目 県施行事業費負担金	
〔歳出及び繰越明許費の補正〕	
河川海岸費負担金 16 ~ 22
《8款 土木費 5項 都市計画費》	
2目 都市開発費	
〔歳出及び繰越明許費の補正〕	
【補助】斜面市街地再生事業費 23 ~ 28
〔歳出の補正〕	
【補助】歴史的地区環境整備事業費 29 ~ 30
《11款 災害復旧費 2項 公共土木施設災害復旧費》	
1目 道路橋りょう河川等災害復旧費	
〔繰越明許費の補正〕	
【補助】道路災害復旧費 31 ~ 32

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
36~37	8 土木費	2 道路橋 りょう費	3 道路橋りょう 新設改良費	1-3	【補助】道路新設改良事業費 (社会資本整備総合交付金) 矢上町現川町線	千円 25,400

1 概 要

(1)事業目的

国の社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)を活用し、車両通行の安全性、快適性の向上を図ることを目的に、損傷の著しい車道の整備を行うもの。

(2)補正予算理由

当該交付金の追加内示に伴い、事業の進捗を図るため予算を増額するもの。

2 全体計画

- (1)事業期間 平成30年度から平成34年度まで
(2)総事業費 155,000千円
(3)事業計画 全体延長L=2,280m 幅員W=8.0m

3 事業内容

- (1)予算現額 舗装工 L= 750m 事業費 計50,400千円
(2)2月補正 舗装工 L= 370m 事業費 計25,400千円
(3)補正後 舗装工 L=1,120m 事業費 計75,800千円

4 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
予算現額	千円 50,400	千円 24,700	千円 -	千円 23,100	千円 -	千円 2,600
2月補正	25,400	12,700	-	11,400	-	1,300
補正後	75,800	37,400	-	34,500	-	3,900

※1 国庫補助率 対象事業費(74,800千円)の50%

※2 起債充当率 地方負担分(38,400千円)の90%(公共事業等債)

【繰越明許費】 予算説明書 58～59 ページ

8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正後 予算現額	千円 75,800	千円 37,400	千円 -	千円 34,500	千円 -	千円 3,900
支出予定額	27,600	13,300	-	12,900	-	1,400
繰越明許額 (11月補正)	22,600	11,300	-	10,100	-	1,200
繰越明許額 (2月補正)	25,600	12,800	-	11,500	-	1,300
繰越明許額 (補正後)	48,200	24,100	-	21,600	-	2,500

【補助】道路新設改良事業費
矢上町現川町線



全体延長 L=2,280m W=8.0m

(補正) 舗装工 L=370m

現川駅

国道 34 号

舗装工 L=750m

九州横断自動車道

高城台

凡 例

-  平成 30 年度事業箇所
-  平成 30 年度補正事業箇所
-  平成 31 年度以降事業箇所

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
36～37	8 土木費	2 道路橋 りょう費	3 道路橋りょう 新設改良費	3-1	【補助】景観まちづくり刷新事業費 まちなか地区	千円 71,700

1 概 要

(1)事業目的

国の景観まちづくり刷新支援事業を活用し、観光地周辺及び周遊ルートの魅力的な空間づくり等の面的な景観整備により、観光都市の魅力を高め、交流人口の拡大を図ろうとするもの。

(2)補正予算理由

国庫補助事業の追加内示により予算を増額するもの 71,700千円

2 事業内容

(1)当初予算

路 線 名	周辺の観光地	事業内容	延長(m)	事業費
本石灰町1号線ほか3線	銅座界限	舗装美装化	250	80,000
出来大工町桶屋町線	中島川界限		180	
浜町伊勢町線	寺町通り		210	

(2)2月補正(追加)

路 線 名	周辺の観光地	事業内容	延長(m)	事業費
出来大工町桶屋町線	中島川界限	舗装美装化	325	71,700

(3)補正後

路 線 名	周辺の観光地	事業内容	延長(m)	事業費
本石灰町1号線ほか3線	銅座界限	舗装美装化	250	151,700
出来大工町桶屋町線	中島川界限		415	
浜町伊勢町線	寺町通り		210	

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
当初予算額	千円 80,000	千円 39,500	千円 —	千円 36,400	千円 —	千円 4,100
2月補正	71,700	35,850	—	32,200	—	3,650
内訳	内示減 ▲740	▲370	—	▲300	—	▲70
	追加内示 72,440	36,220	—	32,500	—	3,720
補正後	151,700	75,350	—	68,600	—	7,750

※1 国庫補助率 対象事業費の50%

※2 起債充当率 地方負担分の90% (公共事業等債)

〔繰越明許費〕予算説明書 60～61 ページ

8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費

(単位:千円)

事業名	金額		財 源 内 訳				
			国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般 財源
【補助】景観まちづくり刷新事業費 まちなか地区	補正後 予算現額	151,700	75,350	—	68,600	—	7,750
	支出予定額	79,260	39,130	—	36,100	—	4,030
	繰越明許額	72,440	36,220	—	32,500	—	3,720

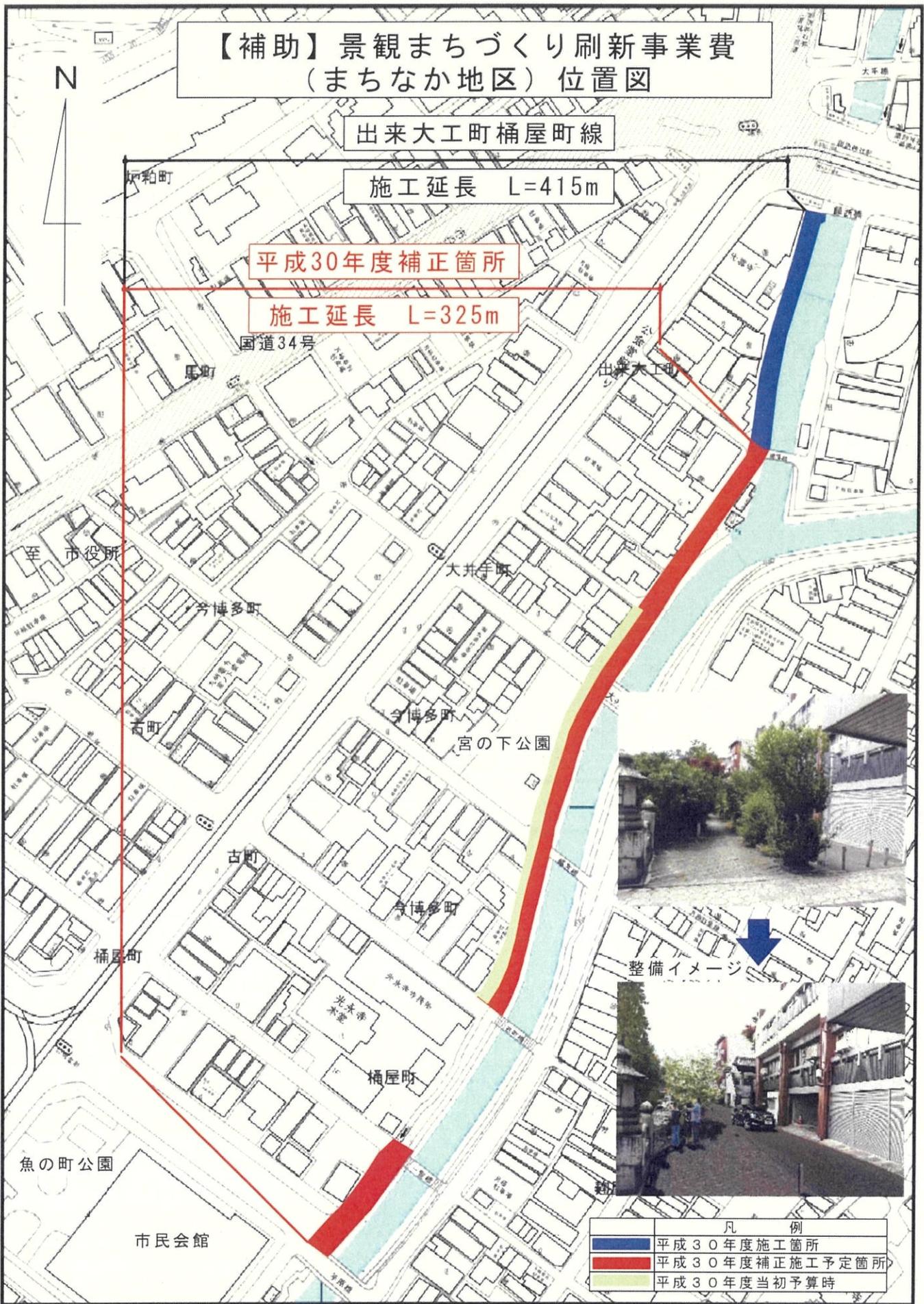
【補助】景観まちづくり刷新事業費
(まちなか地区) 位置図

出来大工町桶屋町線

施工延長 L=415m

平成30年度補正箇所

施工延長 L=325m



整備イメージ

凡 例	
	平成30年度施工箇所
	平成30年度補正施工予定箇所
	平成30年度当初予算時

〔繰越明許費〕予算説明書 60～61 ページ

8款 土木費 2項 道路橋りょう費 3目 道路橋りょう新設改良費

(単位:千円)

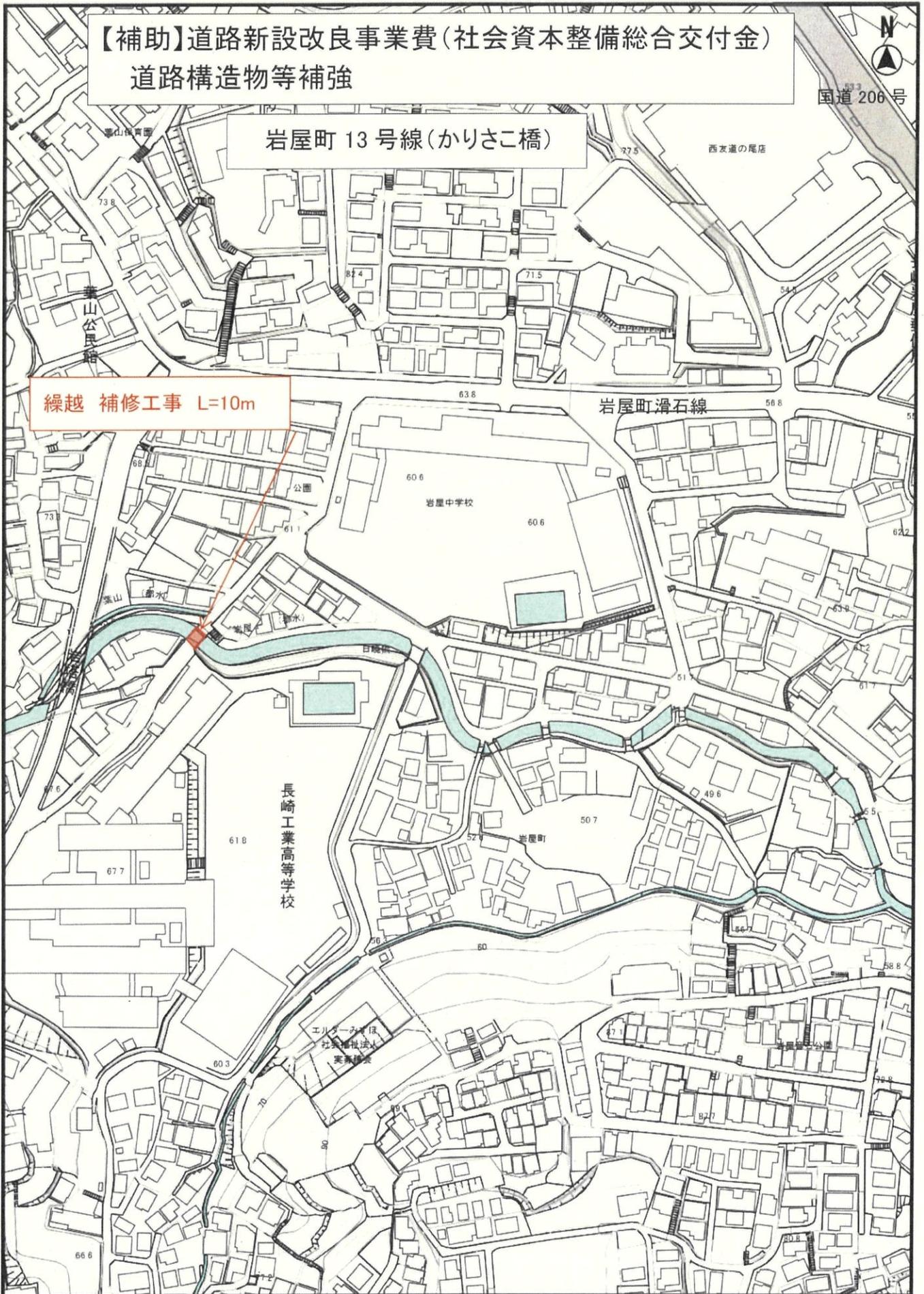
総合 事務所	事業名	金額		財 源 内 訳					
				国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	
中央	【補助】道路新 設改良事業費	予算現額	106,500	57,200	—	21,300	—	28,000	
	(社会資本整備 総合交付金)	支出予定額	86,500	46,200	—	17,300	—	23,000	
	道路構造物等 補強	繰越明許額	20,000	11,000	—	4,000	—	5,000	
中央 東	【単独】道路新 設改良事業費 地方道路等整 備事業費 (総合事務所)	予算現額	1,110,000	—	—	978,600	10,000	121,400	
		支出予定額	1,092,000	—	—	967,000	5,000	120,000	
		繰越明許額 11月補正	10,000	—	—	4,500	5,000	500	
		繰越明許額 2月補正	8,000	—	—	7,100	—	900	
		内訳	中央	1,400	—	—	1,200	—	200
		東	6,600	—	—	5,900	—	700	
	計	18,000	—	—	11,600	5,000	1,400		
合計		予算現額	1,216,500	57,200	—	999,900	10,000	149,400	
		支出予定額	1,178,500	46,200	—	984,300	5,000	143,000	
		繰越明許額	38,000	11,000	—	15,600	5,000	6,400	

【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強



岩屋町 13 号線(かりさこ橋)

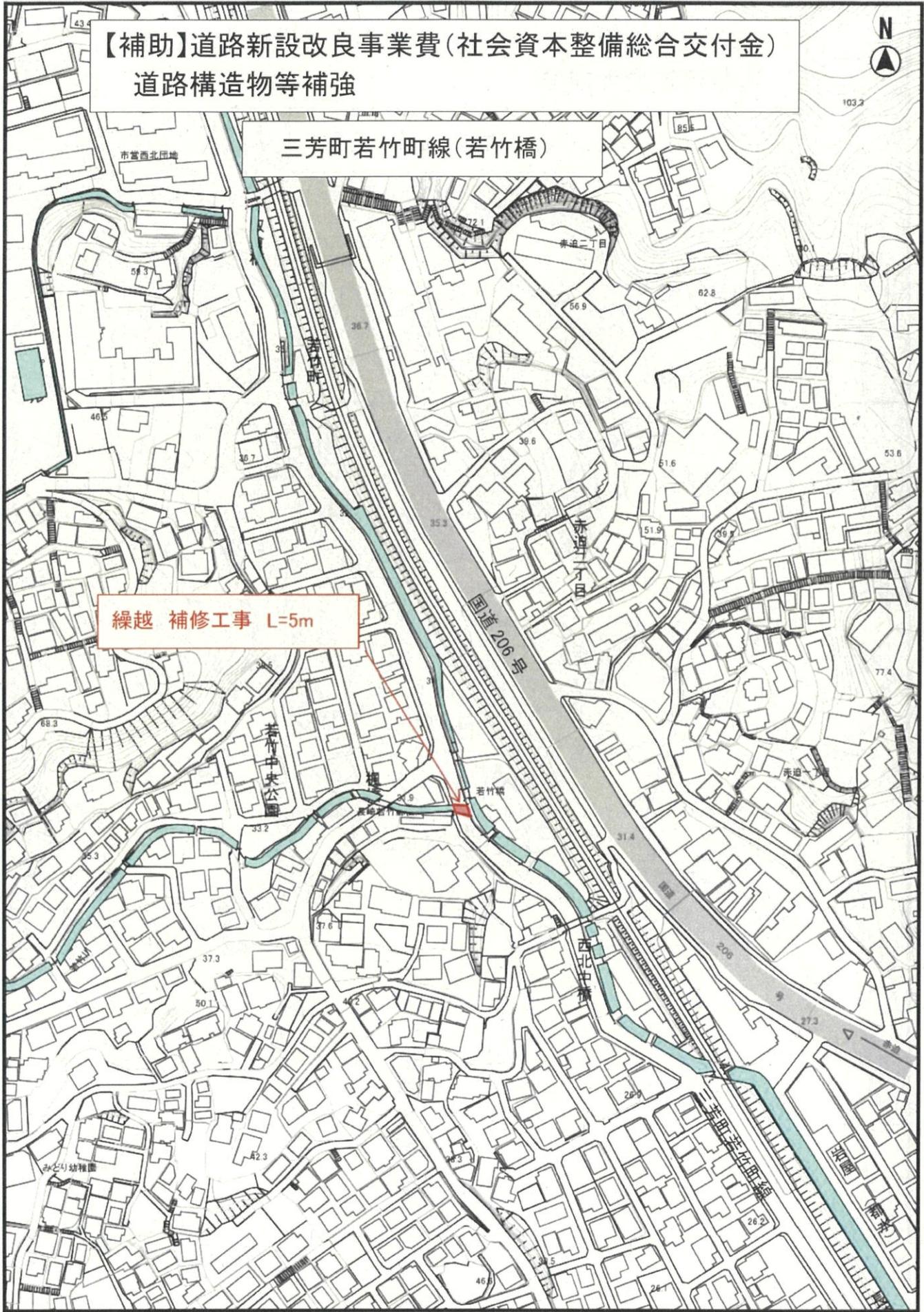
線越 補修工事 L=10m



【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強

三芳町若竹町線(若竹橋)

繰越 補修工事 L=5m



【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)
道路構造物等補強

小江原春木町線(皿焼2号橋)

西城山小学校

花園町

繰越 補修工事 L=37m

立岩町

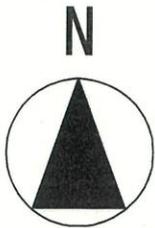
岩間町

小江原春木町線



**【単独】道路新設改良事業費
地方道路等整備事業費**

市道南が丘町星取1号線



工事延長 L=25.0m

道路災害復旧 L=11.0m

道路新設改良 L=14.0m

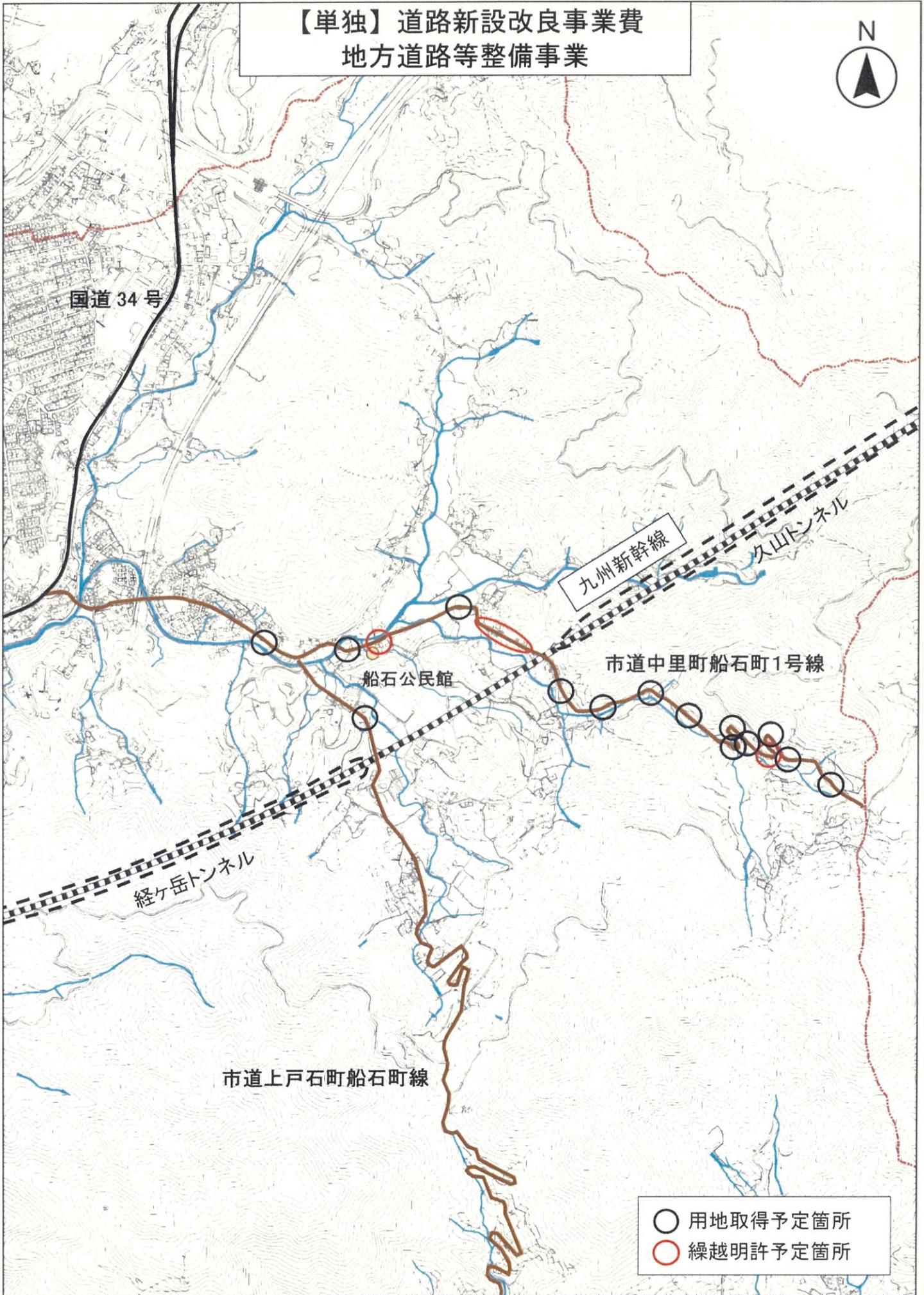
あたご自動車学校



凡例

- 【補助】道路災害復旧費
- 【単独】道路新設改良事業費

【単独】道路新設改良事業費
地方道路等整備事業



- 用地取得予定箇所
- 繰越明許予定箇所

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
38～39	8 土木費	3 河川海岸費	2 河川改良費	2-1	【単独】自然災害防止事業費 急傾斜地崩壊対策	千円 ▲11,000

1 概 要

(1)事業目的

急傾斜地の崩壊による被害から市民の生命と財産を守るため、急傾斜地崩壊対策工事を実施するもの。

(2)補正予算理由

県費補助事業の内示減に伴い予算を減額するもの ▲11,000千円

2 事業内容

(単位:千円)

区分	地区名(施行箇所)	当初	補 正 後	補正額
中央総合 事務所	三川(8)地区 (三川町)	法枠工事 A=740 m ² 擁壁工 L=30m 測量調査設計 1箇所 用地測量 2箇所 事業費:70,000	法枠工事 A=554 m ² 擁壁工 L=0m 測量調査設計 2箇所 用地測量 1箇所 事業費:66,800	▲ 3,200
	戸町3丁目屋敷迫地区 (戸町3丁目)			
	滑石5丁目地区 (滑石5丁目)			
	田上(6)地区 (田上1丁目)			
	御船蔵(4)地区 (御船蔵町)			
	三川(16)地区 (川平町)			
東総合 事務所	古賀(1)地区 (古賀町)	法枠工事 A=400 m ² 測量調査設計 2箇所 事業費:30,000	法枠工事 A=154 m ² 測量調査設計 2箇所 事業費:27,200	▲ 2,800
	東町地区 (東町)			
	平間(2)地区 (平間町)			

区分	地区名(施行箇所)	当初	補正後	補正額
南総合事務所	塩町地区 (伊王島町2丁目)	法枠工事 A=400 m ²	法枠工事 A=280 m ²	▲ 5,000
	深堀5丁目地区 (深堀町5丁目)	測量調査設計 1箇所 用地測量 2箇所	測量調査設計 1箇所 用地測量 1箇所	
	深堀4丁目地区 (深堀町4丁目)	事業費:28,000	事業費:23,000	
合計		事業費:128,000	事業費:117,000	▲ 11,000

3 財源内訳

(単位:千円)

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金※1	地方債※2	その他※3	一般財源
当初予算額	千円 131,000	千円 -	千円 64,000	千円 60,600	千円 4,400	千円 2,000
2月補正	▲11,000	-	▲5,500	▲5,100	▲400	-
補正後	120,000	-	58,500	55,500	4,000	2,000

※1 県費補助率 対象事業費(11,000千円)の1/2

※2 起債充当率 地方負担分(5,100千円)の100%(一般単独事業債・自然災害防止事業)

※3 急傾斜地崩壊対策事業費寄附金

【繰越明許費】予算説明書 60~61ページ

8款 土木費 3項 河川海岸費 2目 河川改良費

(単位:千円)

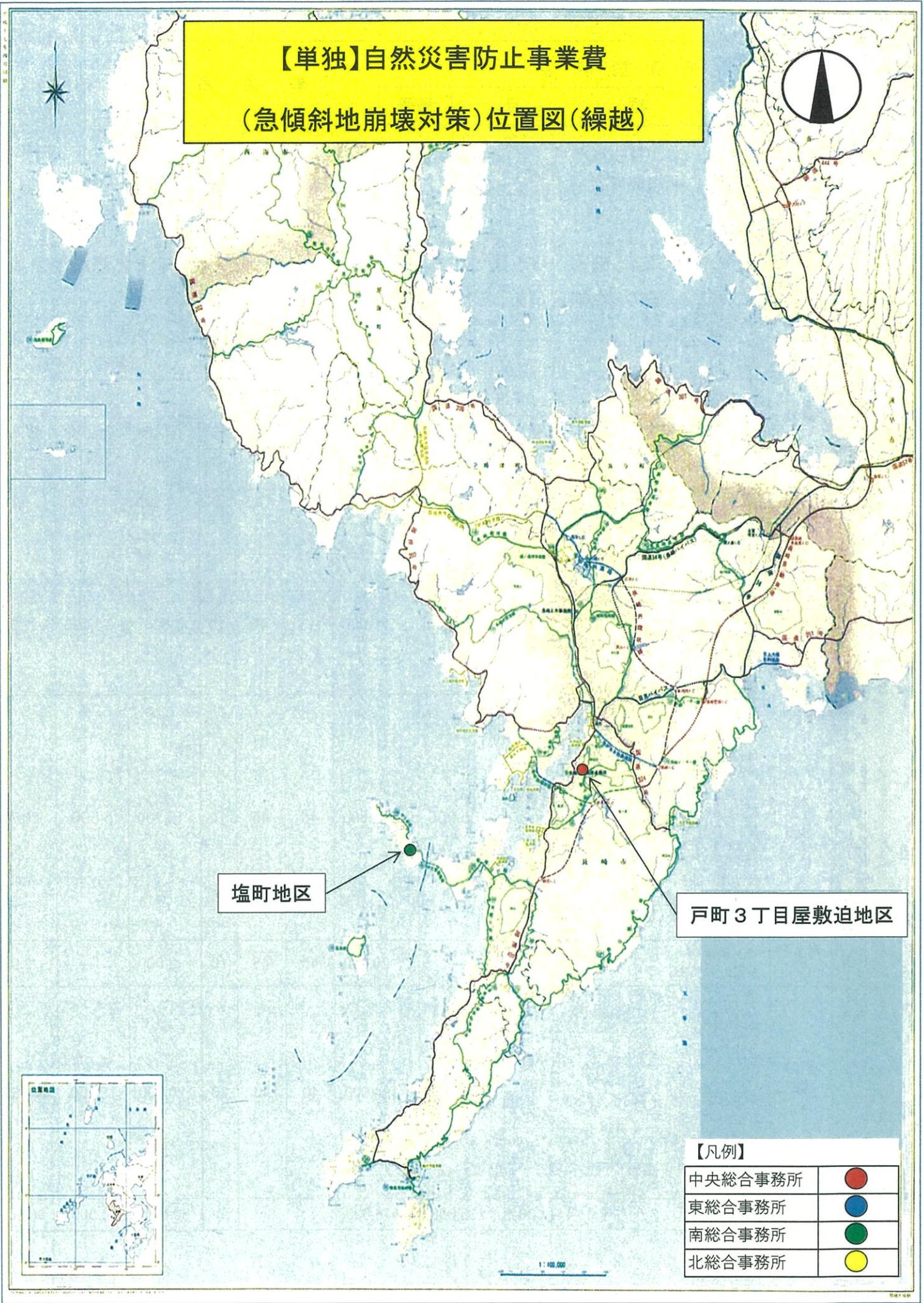
事業名	金額		財源内訳			
			県支出金	地方債	その他	一般財源
【単独】自然災害防止 事業費 急傾斜地崩壊対策	補正後 予算現額	千円 120,000	千円 58,500	千円 55,500	千円 4,000	千円 2,000
	支出予定額	92,000	44,500	43,200	2,300	2,000
	繰越明許額	28,000	14,000	12,300	1,700	-

<繰越地区>

戸町3丁目屋敷迫地区

塩町地区

【单独】自然災害防止事業費
(急傾斜地崩壊対策)位置図(繰越)



塩町地区

戸町3丁目屋敷迫地区

【凡例】

中央総合事務所	● (Red)
東総合事務所	● (Blue)
南総合事務所	● (Green)
北総合事務所	● (Yellow)

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
38～39	8 土木費	3 河川海岸費	3 県施行事業 費負担金	1-1	河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業費	千円 30,500

1 概 要

急傾斜地の崩壊による被害から市民の生命と財産を守るため、県が施行する急傾斜地崩壊対策事業に対して、国の2次補正があったため、地元負担金を支出するもの。

2 事業内容

(単位:千円)

事業区分	箇所名 (事業年度)	平成30年度事業費			負担率(%)			市負担			
		当初	補正額	補正後	国	県	市	当初	補正額	補正後	
公共関連 ※1	大規模 斜面 ※3	多良(4)地区 (H27～H33)	90,000	40,000	130,000	47.5	47.5	5	4,500	2,000	6,500
		滑石3丁目(4)地区 (H27～H32) 繰・補繰									
		若竹(4)地区 (H29～H35)									
	その他 ※4	三川(3)地区 (H19～H32)	75,000	50,000	125,000	45	45	10	7,500	5,000	12,500
		片淵3丁目地区 (H26～H31) 補繰									
		川平(1)地区 (H28～H33) 繰									
	金堀(1)地区【新規】 (H30～H35) 補繰	—									
一般 ※2	大規模 斜面 ※3	田中(2)地区 (H21～H33)	152,000	55,000	207,000	45	45	10	15,200	5,500	20,700
		三川上ノ角地区 (H24～H30)									
		けやき台地区 (H25～H30)									
		赤迫(2)地区 (H26～H32) 繰・補繰									
		大園(4)地区 (H29～H36)									
		金堀(6)地区 (H29～H35)									
	大浜(19)地区【新規】 (H30～H37) 補繰	—									
	緊急改築 ※5	神ノ島地区 (H25～H32)	20,000	—	20,000	45	45	10	2,000	—	2,000
	その他 ※4	滑石3丁目(4)地区 (H27～H32) 補繰	104,000	90,000	194,000	40	40	20	20,800	18,000	38,800
		大宮(3)地区 (H27～H32) 繰									
		西北(5)地区 (H29～H34)									
滑石3丁目(5)地区 (H29～H35)		—									
片淵3丁目地区 (H26～H31) 補繰											
田中(61)地区【新規】 (H30～H35) 補繰											
計		441,000	235,000	676,000				50,000	30,500	80,500	

- ※1 公共関連 被害を受ける恐れのある区域内に、砂防施設・道路・鉄道・水道施設等がある場合
 ※2 一般 公共関連以外の場合
 ※3 大規模斜面 高さが概ね 30m 以上の斜面である場合
 ※4 その他 大規模斜面に該当しない場合
 ※5 緊急改築 既存の急傾斜地崩壊防止施設のうち経年劣化した個所の改築を行う場合

3 財源内訳

区分	事業費	市負担額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
当初予算額	千円 441,000	千円 50,000	千円 -	千円 -	千円 45,000	千円 -	千円 5,000
2月補正	235,000	30,500	-	-	30,500	-	-
補正後	676,000	80,500	-	-	75,500	-	5,000

※起債充当率 対象事業費(市負担額 30,500千円)の100%(補正予算債)

【繰越明許費】予算説明書 62～63 ページ

8款 土木費 3項 河川海岸費 3目 県施行事業費負担金

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊 対策事業費	補正後 予算現額	80,500	-	-	75,500	-	5,000
	支出予定額	36,250	-	-	32,600	-	3,650
	繰越明許額 (当初分)	13,750	-	-	12,400	-	1,350
	繰越明許額 (補正分)	30,500	-	-	30,500	-	-
	繰越明許額計	44,250	-	-	42,900	-	1,350

河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業
位置図(補正、繰越)

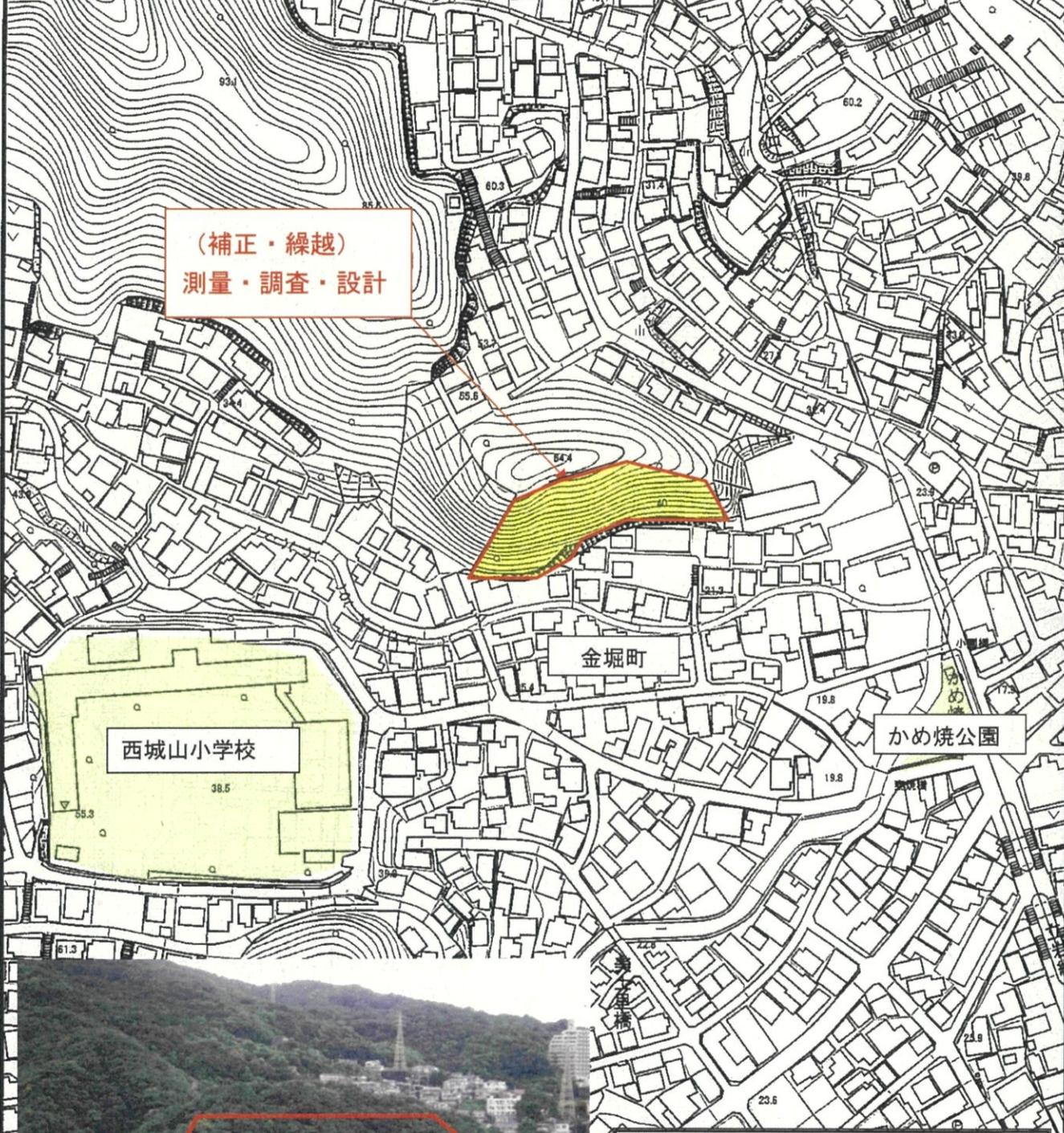


河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業費

金堀(1)地区(新規)



(補正・繰越)
測量・調査・設計



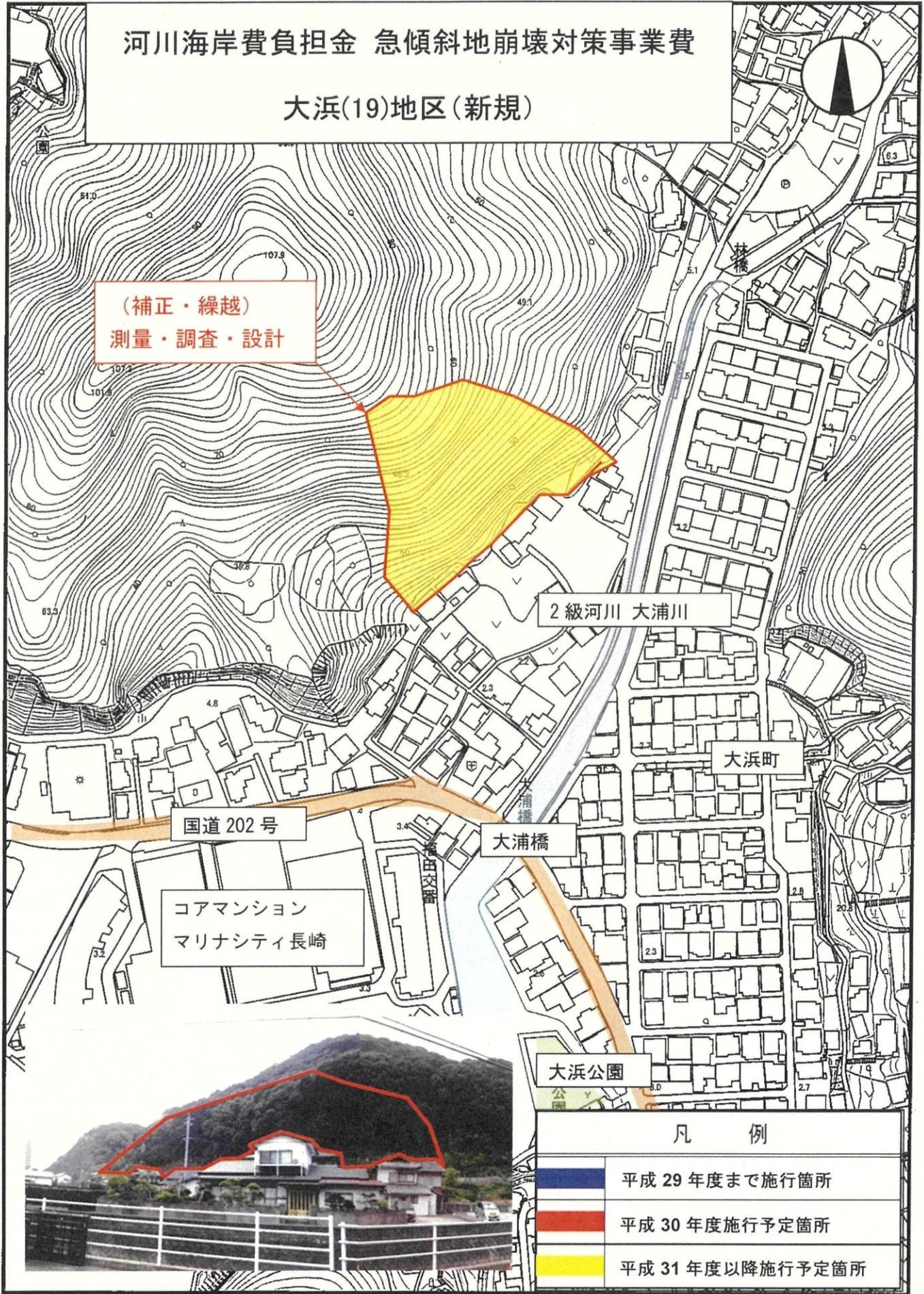
凡 例	
	平成 29 年度まで施行箇所
	平成 30 年度施行予定箇所
	平成 31 年度以降施行予定箇所

河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業費

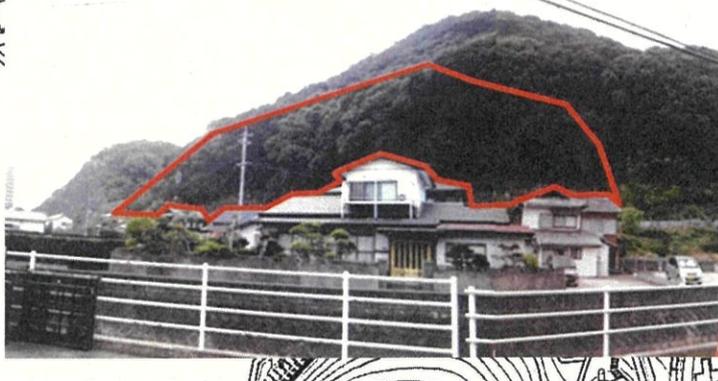
大浜(19)地区(新規)



(補正・繰越)
測量・調査・設計

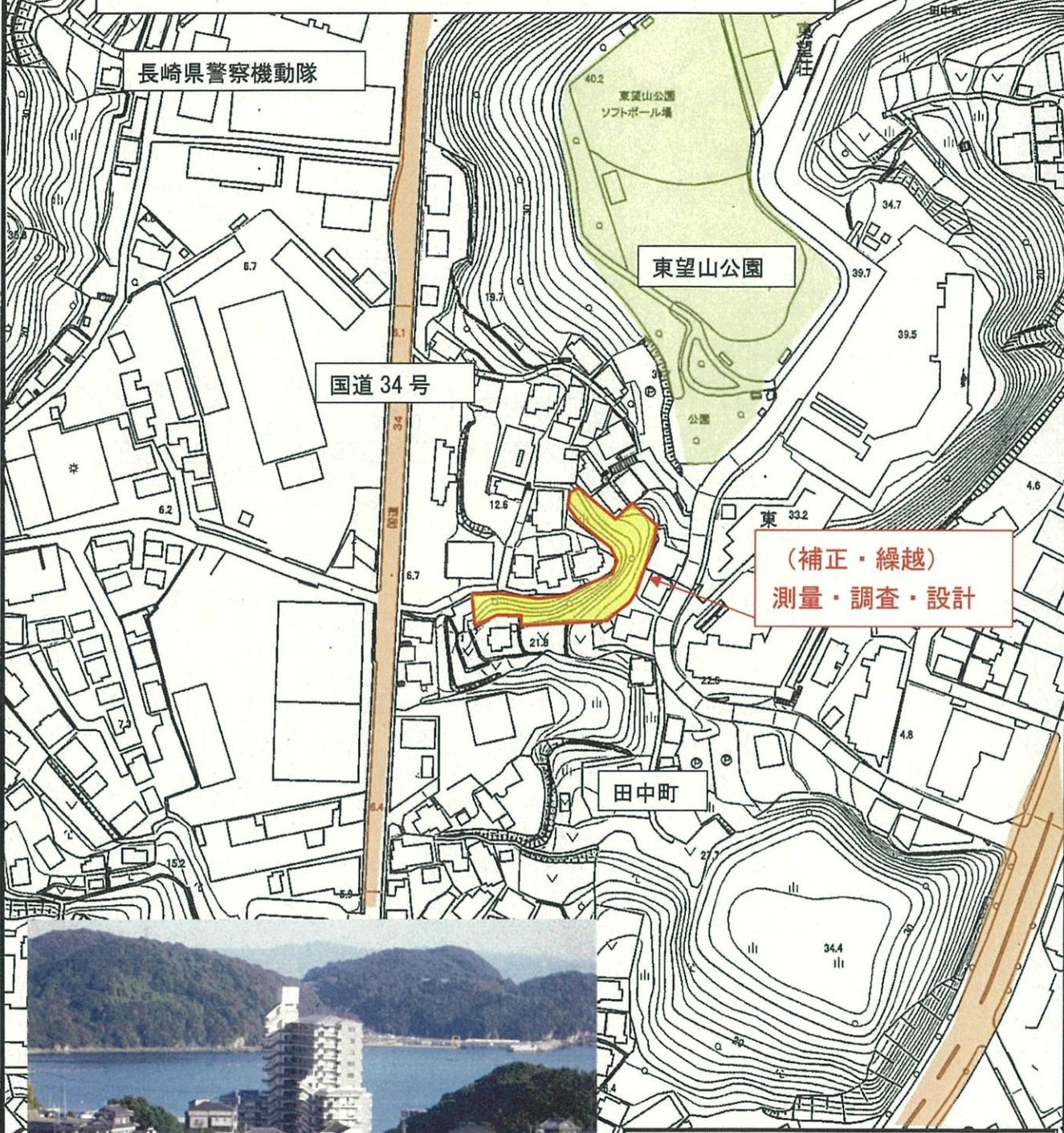


凡 例	
	平成 29 年度まで施行箇所
	平成 30 年度施行予定箇所
	平成 31 年度以降施行予定箇所

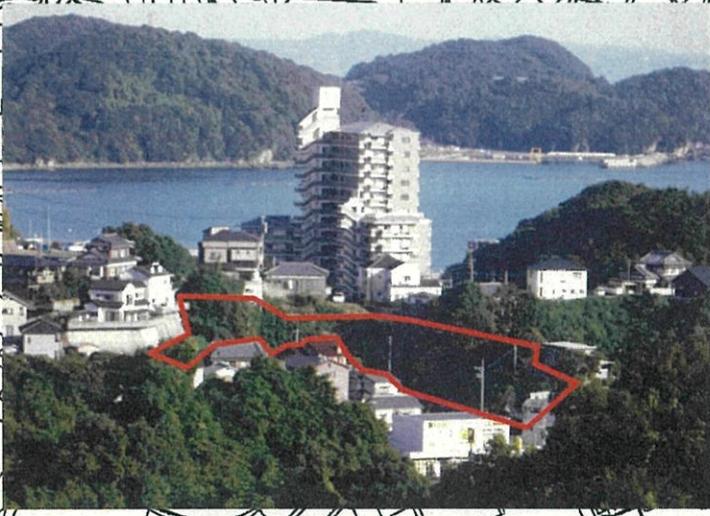


河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業費

田中(61)地区(新規)

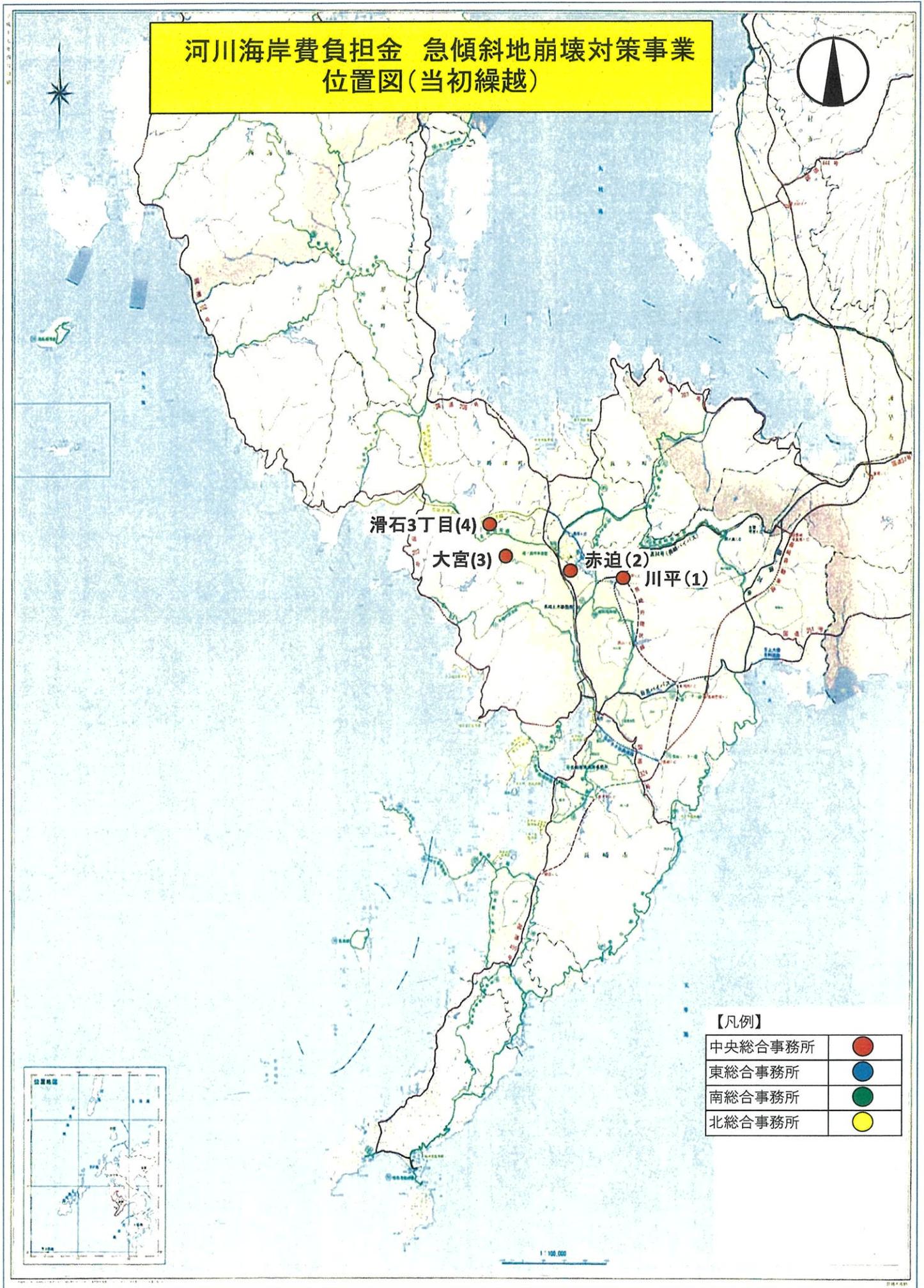


(補正・繰越)
測量・調査・設計



凡 例	
	平成 29 年度まで施行箇所
	平成 30 年度施行予定箇所
	平成 31 年度以降施行予定箇所

河川海岸費負担金 急傾斜地崩壊対策事業
位置図(当初繰越)



【凡例】

中央総合事務所	●
東総合事務所	●
南総合事務所	●
北総合事務所	●

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
38～39	8 土木費	5 都市 計画費	2 都市 開発費	1-1 1-2 1-3	【補助】斜面市街地 再生事業費	千円 ▲110,500

1 概 要

(1)事業目的

本市の斜面市街地において、建物の老朽化や密集度等が高い8地区を整備促進区域と定め、その区域内で特に整備が必要な地区を重点整備地区として、防災・安全交付金事業（住宅市街地総合整備事業）を用いて、道路・公園等の整備や老朽建築物の除却及び建替えなど総合的にいき、防災性の向上や居住環境の改善を図る。

(2)補正予算理由

国庫補助事業の内示減に伴い予算を減額するもの ▲ 110,500千円

2 事業内容

(単位:千円)

地区名	当初	補正後	補正額
稲佐・朝日地区	用地取得 A=190 m ² 建物補償 1 棟 事業費:31,100	用地取得 A=0 m ² 建物補償 0 棟 事業費:0	▲31,100
南大浦地区	道路改良工事 L=25m 土取(土地取得特別会計) からの買戻し 用地 1 件 建物 5 棟 借家人 1 件 事業費:46,700	道路改良工事 L=25m 土取(土地取得特別会計) からの買戻し 用地 1 件 建物 1 棟 借家人 1 件 事業費:17,500	▲29,200

(単位:千円)

地区名	当初	補正後	補正額
立山地区	道路改良工事 L=40m 用地取得 A=600 m ² 支障物件移設補償 一式 事業費:56,500	道路改良工事 L=0m 用地取得 A=50 m ² 支障物件移設補償 なし 事業費:6,300	▲50,200
合計	事業費:134,300	事業費:23,800	▲110,500

3 財源内訳

(単位:千円)

事業名	事業費		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】斜面市街地再生 事業費 稲佐・朝日地区	当初予算額	31,100	15,300	—	15,500	—	300
	2月補正	▲31,100	▲15,300	—	▲15,500	—	▲300
	補正後	0	0	—	0	—	0
【補助】斜面市街地再生 事業費 南大浦地区	当初予算額	46,700	21,730	—	24,700	—	270
	2月補正	▲29,200	▲13,467	—	▲15,600	—	▲133
	補正後	17,500	8,263	—	9,100	—	137
【補助】斜面市街地再生 事業費 立山地区	当初予算額	56,500	27,300	—	27,700	—	1,500
	2月補正	▲50,200	▲24,733	—	▲25,900	—	433
	補正後	6,300	2,567	—	1,800	—	1,933
合計	当初予算額	134,300	64,330	—	67,900	—	2,070
	2月補正	▲110,500	▲53,500	—	▲57,000	—	0
	補正後	23,800	10,830	—	10,900	—	2,070

※1 国庫補助率 対象事業費 (103,298千円) の1/2

対象事業費 (5,552千円) の1/3

※2 起債充当率 地方負担分 (57,000千円) の100% (公営住宅建設事業債)

〔繰越明許費〕予算説明書 62～63 ページ

8款 土木費 5項 都市計画費 2目 都市開発費

(単位:千円)

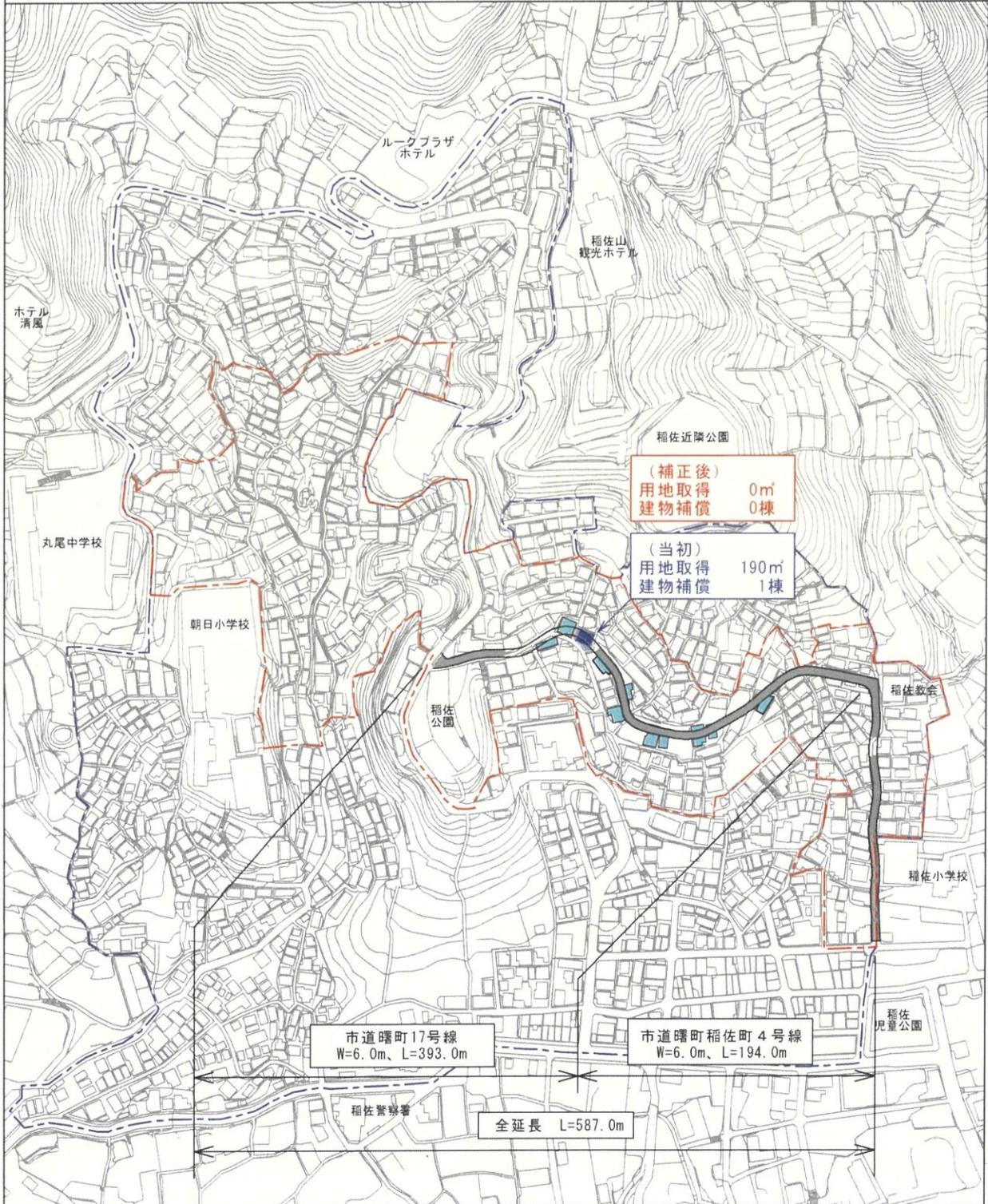
事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】斜面市街 地再生事業費 南大浦地区	補正後 予算現額	17,500	8,263	—	9,100	—	137
	支出予定額	7,500	3,313	—	4,100	—	87
	繰越明許額	10,000	4,950	—	5,000	—	50

斜面市街地再生事業（稲佐・朝日地区）



整備促進区域 A=32.0ha
 重点整備地区 A=9.4ha

整備完了箇所
 既買取箇所
 平成30年度予定箇所
 平成30年度補正箇所

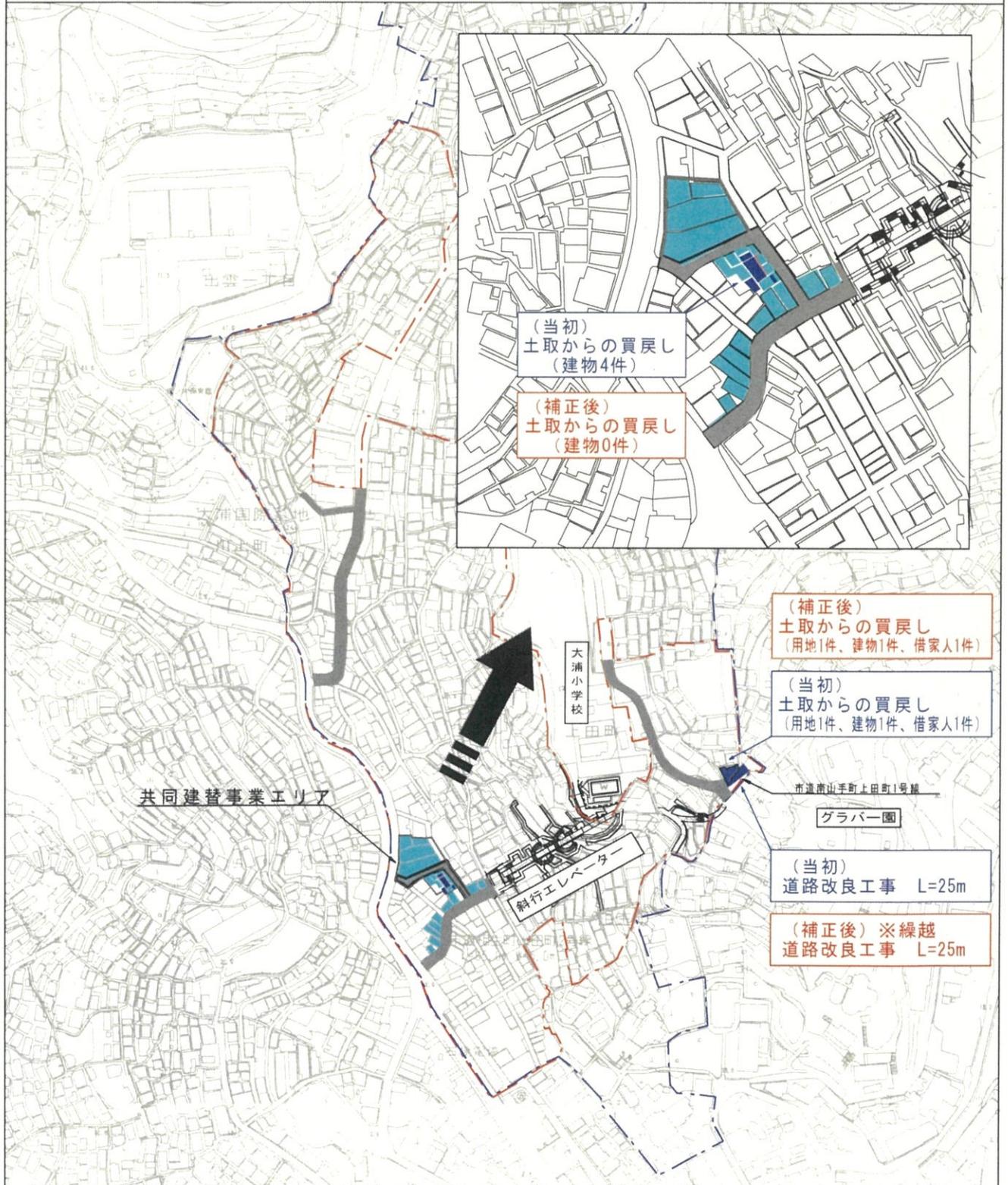


斜面市街地再生事業（南大浦地区）



整備促進区域 A=25.0ha
 重点整備地区 A=11.1ha

整備完了箇所
 既買収箇所
 平成30年度予定箇所
 平成30年度補正（繰越）箇所



斜面市街地再生事業（立山地区）



整備促進区域 A=21.5ha

重点整備地区 A=5.9ha

整備完了箇所

既買収箇所

平成30年度予定箇所

平成30年度補正箇所



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
40~41	8 土木費	5 都市 計画費	2 都市 開発費	3-1	【補助】歴史的地区 環境整備事業費 唐人屋敷顕在化	千円 ▲52,600

1 概 要

(1)事業目的

唐人屋敷跡は、日本と中国の交流の歴史的意義はもとより、長崎市の観光の面からも重要な位置を占める場所であるので、唐人屋敷顕在化事業として観光や情報発信の拠点整備と日中交流の歴史が生きづいたまちづくりを行うもの。

(2)補正予算理由

国庫補助事業の内示減に伴い予算を減額するもの ▲ 52,600千円

2 事業内容

(単位:千円)

事業名	当初	補正後	補正額
唐人屋敷顕在化	用地取得 A=488 m ² 建物補償 3 件 営業補償 4 件 事業費:85,600	用地取得 A=198 m ² 建物補償 0 件 営業補償 2 件 事業費:33,000	▲52,600

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
当初予算額	85,600	40,320	—	36,500	—	8,780
2月補正	▲52,600	▲25,634	—	▲23,000	—	▲3,966
補正後	33,000	14,686	—	13,500	—	4,814

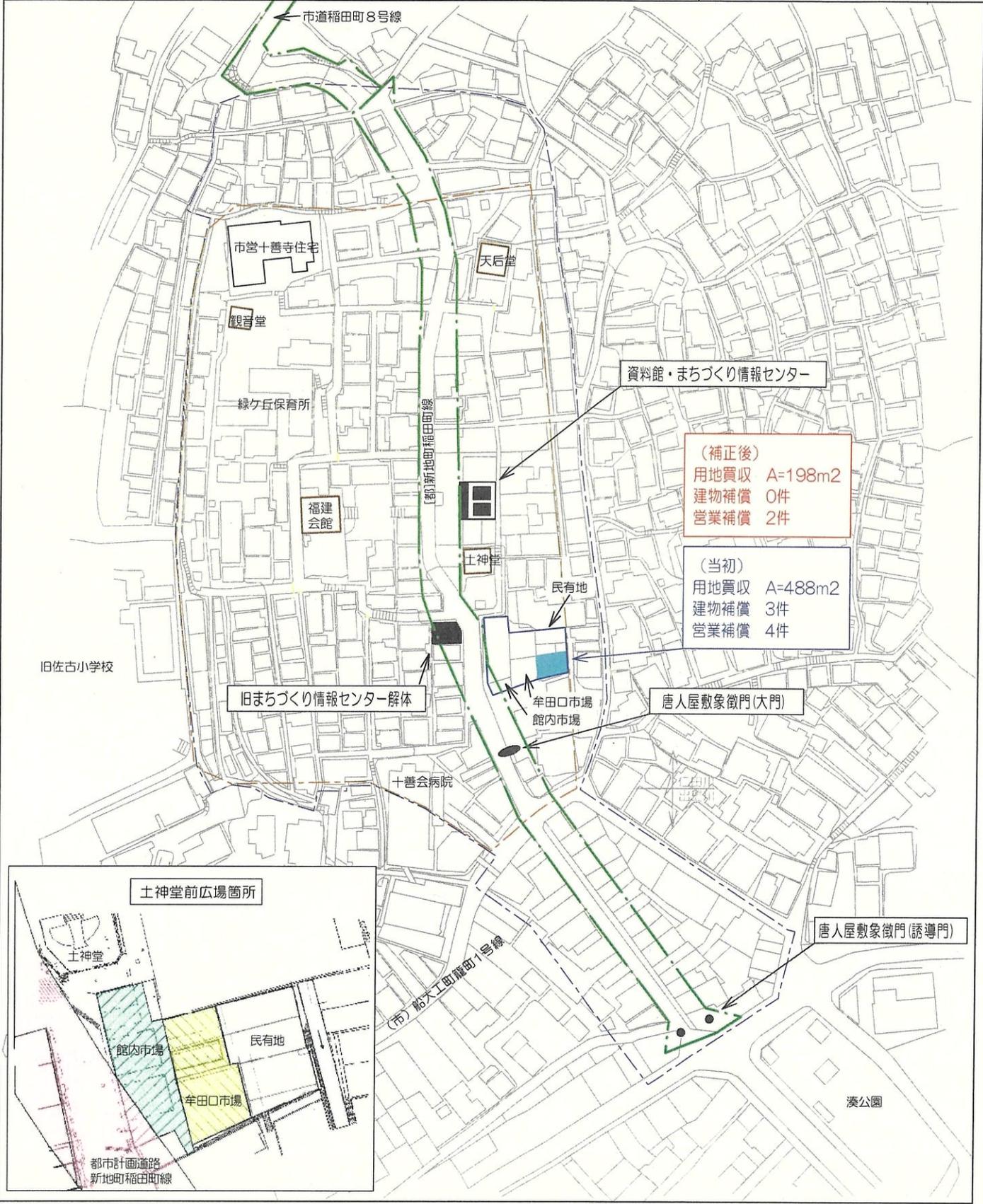
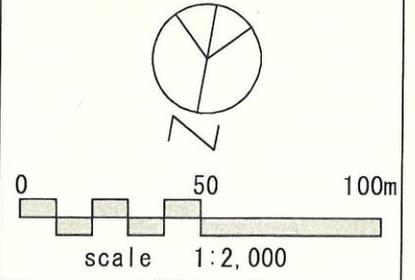
※1 国庫補助率 対象事業費(51,268千円)の50%

※2 起債充当率 地方負担分(25,634千円)の90%(公共事業等債)

唐人屋敷顕在化事業

 唐人屋敷跡
 A = 3.6ha
 街なみ環境整備事業促進地区
 A = 5.5ha

整備完了箇所
 既買収箇所
 平成30年度予定箇所
 平成30年度補正箇所



資料館・まちづくり情報センター

(補正後)
 用地買収 A=198m²
 建物補償 0件
 営業補償 2件

(当初)
 用地買収 A=488m²
 建物補償 3件
 営業補償 4件

旧まちづくり情報センター解体

唐人屋敷象徴門(大門)

土神堂前広場箇所



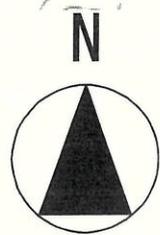
唐人屋敷象徴門(誘導門)

【繰越明許費】予算説明書 66～67 ページ

11款 災害復旧費 2項 公共土木施設災害復旧費 1目 道路橋りょう河川等災害復旧費

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
【補助】道路災害復旧費 現年度災害分	予算現額	91,000	60,697	30,200	—	103
	支出予定額	59,300	39,553	19,700	—	47
	繰越明許額 (9月補正)	30,000	20,010	9,900	—	90
	繰越明許額 (2月補正)	1,700	1,133	500	—	67
	繰越明許額	31,700	21,143	10,400	—	157



【補助】道路災害復旧費

市道南が丘町星取1号線

工事延長 L=25.0m

道路災害復旧 L=11.0m

道路新設改良 L=14.0m

あたご自動車学校



凡例

- 【補助】道路災害復旧費 
- 【単独】道路新設改良事業費 